

「宮城県の柴田町ってところに行こうと思うんだけど、どうですかね？」と、奥さんに恐る恐る訊いてみた。「良さそうなところなの？」と訊かれたので「なんかね、仙台からも仙台空港からもたぶん車で30~40分とかで行ける町っぽいよ」と答えた。

「そっか、じゃあなんか色々便利そうだね」と無事に奥さんからの移住の許可を頂戴し、この度、柴田町に移住してきました。D山(でーやま)と申します。

本職は、カメラマンで、写真や動画を撮ったり、文章を書いたりデザイン業などもやり、ものづくりをしながら雑貨屋をWebで運営して暮らしたりしています。

現在、結婚5年目とかですが、奥さんとは基本別々に暮らしてしまして、奥さんは札幌、僕は柴田です。

別々に暮らす理由は単純に、「都会が苦手」なのと、「一人で静かに仕事をしたい」というわがままを聞いて頂ける奥さんと結婚出来たのと、子供がいないし、奥さんも働いてくれているので、こういった生活スタイルが可能になっているんじゃないかならうかと思えます。

で、この新聞についてです。

この「シバ田トリノネ新聞」はですね、柴田の地域おこし協力隊として任命をして頂き、その活動の一つとしてローカルメディアを作ろうと思っているのと、いろんな情報が簡単にネットで手に入るわけですが、こういった手に取れるフリーペーパーを作って、その中

で企画だったり、柴田町のふるさと納税の返礼品を作ったり、D山の柴田町での発見とその暮らしっぷりとかを皆様にお伝えしていけたら、面白いんじゃないかなと思って発行しています。

ちなみに出身は北海道の旭川市です。そう、あの旭山動物園で有名な町です。

時々「あぁ、旭川動物園ね」と言われるけど、皆さん違います「あさひやま動物園」ですからね。

1979年生まれで、20代の頃はシュッとしていましたが、今はただただ中肉中背のおじさんに変貌しています。

それはとてもとても、悲しいです。

基本、なんでもむしゃむしゃと食べますが、なぜか年齢を重ねてから長芋を食べると、すごい胸焼けをするようになってしまい、この長芋との戦いはちょっと厳しいぞと、どうにか起き上がるために何かを食べなきゃと思って、震える手でネットで「胸焼け 治す 食材」と検索したら、その答えがまさかの「長芋を食べましょう」というカオスな答えが返ってきて、僕は静かに天井を見つめ、そのままゆっくりと目を瞑りました。

そんな男が発行しています。

これから毎月発行となり、今後は毎回、回覧板に入れてさせて頂きますので、回覧板が回ってきたときに、ちらりと読んで頂けたら幸いです。



人の名前を覚えるのが苦手です、それを克服する方法として「勝手にあだ名を付けると忘れない」と、自分で結論付けて生活をしています。

なので、柴田で知り合った人に「リンリン」「ケンケン」「ズーコ」と勝手に名付けて呼ばせてもらっています。

でも、そういったことを学生時代からやっているの、僕の周りには僕だけがそう呼んでいる、という友人がいて、「へろゆき」「パセリ」「キャンベル」「ダーコ」といった、素敵なニックネームの方々がおります。

そうそうそれと、先日、友人と柴田町内でご飯を食べていた時に「タイガー」と呼ばれている方がいました。

なんか面白い名前だなあと考えて「〇〇さん、なんでタイガーなんすか？」と半笑いで訊いたら、かぶせ気味に「あなたが付けたんでしょ！」と怒られたよ。

まいっちゃうよね、柴田の人って短気なのかな？



柴田町内でイベントをやりたいなと思っています。

使われなくなって、その使い道をどうしようかと思っている建物を有効活用してイケたらと思っています、協力隊の同期の林くん(リンリン)が空き家対策のミッションで動いているので、使っていない家とかがあれば、お気軽にご連絡ください。

右にリンリンのイラストを描いていますが、全然似ていません。似てないけれど、このフリーペーパーが出るまで彼にはイラスト似てないけどごめん、とわざわざ言う必要も無いのでこのまま印刷してみようと思います。

## 今月の「こんなことしません？」

自分の仕事の一つとして、柴田町で現在、ふるさと納税の返礼品として登録されている商品のプロモーションや、これから新規で返礼品として出品したいなあとか、ちょっとパッケージを変えてやってみたいなという方のサポートをしてイケたらと思っています。

特に、お米を作っている方で返礼品として出品したい方や、ドライフルーツや瓶詰めしたものなど、ある程度長期保存出来るものを作っている方、ちょっと興味があるんだけどなあって方がいらっしやいましたら、とってもお気軽にお声がけください。

⇒ [info@shibatad.com](mailto:info@shibatad.com)

デザインに統一感を持たせて、他の町の方にも食べて頂けるような取り組みをしていきたいと思っています。

### 同僚のおふたり



空き家バンクの運営をしている林隊員。使っていない物件や、相続はしたけど今後も使う予定が無い物件、しばらくしたら使わなくなる予定の物件などあれば、お気軽にお問い合わせ下さい。

0224-54-2111 まちづくり政策課



吉本興業所属で柴田町在住の芸人、ゆずさん。柴田町のイベントの司会だったり、Youtube や SNS の更新をしながら、活動しています。

「柴田町 ゆずさん」で検索を

### - 編集後記 -

と、言うわけで2024年6月から柴田町民になりました。引越すために、ダンボールにひたすら荷物を詰めて、仕事で使うミシンとか機械は、ひいひい言いながら車に詰め込んでフェリーに乗ってやってきました。

今の所、柴田町、とても住みやすいです。

静かだし、生活する上での買い物で困ることも無いし、なんだかんだで皆さん優しそうだし。

元々、完全に朝型の人間でとっても早寝早起きです、夏は大体4時半に起きています。

布団から出て、コーヒーを入れて原稿書いたり仕事をしている時に、窓の外から鳥たちがずっとぴよぴよ鳴いているので、新聞の名前を「鳥の音」にしましたよ、っていう話。

発行者：柴田町地域おこし協力隊 山田和史

取材やお仕事のご依頼等は ⇒ [info@shibatad.com](mailto:info@shibatad.com) へ